

地域移行を利用して

以前にあすなろで、地域移行を利用された、前田幸治さん(73)にお会いしてきました。

あすなろとの出会い

4年前くらいかな。

あすなろの第一印象

こんな人たちが居らっしゃるんやなと思った。(支援してくれる人がいることを)知らなかった。

ピアサポーターの印象

よく話してくれて、アドバイスをしてくれた。気さくな方ですと前から知り合いのようだった。

趣味や興味のあること

俳句。平成25年の俳句兵庫県大会で1位になった(倍率、1402倍)。それ以降もなんども入賞している。

地域移行中のエピソード

引っ越しや冷蔵庫の購入、ベッドを二階から一階におろしてもらったりした。

あすなろがあったから今がある。ほんまよかった。

ケアマネさんや看護師さん、あすなろなどいろいろな出会いが前田さんの素敵な笑顔につながっているのかと感じました。(S)



(上)インタビューと握手する前田さん

(右)あすなる新聞に掲載された作品



(左)自作の額(段ボールを水道のホースで包んである)の飾られた一位入選作品

最近の出来事

三田市三輪地区の民生委員定例会にあすなろピアサポーターが参加させて頂きました。あすなろのピアサポーター4人がそれぞれのあいさつ代わりにリカバリーストーリーを話し、その後グループワーク。ピアサポーターがしている活動を紹介したり、民生委員の活動をお聞きしたりしました。地域の高齢者を対象に活動されている民生委員、精神障害の方を対象に活動をしているピアサポーター。活動する分野は違いますが、「助け合いの舞台」で仕事をするという点では同じです。

精神障害のことをオープンにして話すこと、暮らすことについて触れられ、病気はじぶんの一部であり、個性のひとつであることを再認識。病気を経験したからこそ得られたものを良い意味でとらえて日々を送っていきたい。「自分は大丈夫」、「自分っていいな」って思う気持ち、「自己肯定感」ってとっても大事。自分を肯定するとは、そのままの自分を認めることです。そのままの自分を認めると安心できる。そういった考えをピアサポーターの活動をする上でも心に持っておきたいです。(N)



あすなろの実習(大阪保健福祉専門学校生 池上)

みなさん、こんにちは。あすなろ実習生の池上です。僕は今、ワーカーになるための勉強をしています。

このぴあサポ通信の編集会議でお会いしたピアサポーターのSさんの一言。『入院中の人退院したら、ここに行ってみたいなあと思うような場所を紹介したい。文字を読むのもつらい時、そんな時に見てもらえるような写真を載せたいんです。』ワーカーとして、何か大事な風景が見えた気がします。

朝晩と寒くなってきましたね。今日も一日、気持ちをほぐしていきましょう。

※あすなろに精神保健福祉士の実習に来られた池上さんに投稿していただきました。実習生の目線って、新鮮ですね。早く一人前のPSWになって実践で活躍されることを願っています(編集者F)。



雲外蒼天(うんがいそうてん)

日頃からネガティブな言葉を口ぐせにしているひとは、考え方や行動もネガティブな方向へ引っ張られがちになる。なので、「どうせ」、「ダメだ」といったネガティブな言葉をつかわないようにして、「いける」、「大丈夫」、「なんとかなる」といったポジティブな言葉を意識的に口にするようにしてみる。そうすると、考え方が前向きになって物事を肯定的にとらえられるようになるのでは。(N)